



# 七月(大) 文月

ふみづき

## 女宿

(七月七日小暑の節より  
月命丁未三碧木星の月  
暗剣殺東の方)

旧 閏五月小  
六月大

日	曜日	干支	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	月入	満潮	干潮
1日	土	つちのとうし	○上弦九時五十分、社会を明るくする運動、富士山開き、全国安全週間、国民安全の日、銀行の日、 半夏生(○時五七分、三隣亡、博多祇園山笠(1日、15日)) 旧暦五月小	八	赤口	あやぶ	柳	母倉	4.29	19.01	11.52	24.00	16.11
2日	日	かえとら		九	先勝	なる	星	母倉	4.29	19.01	12.48	23.22	17.17
3日	月	かえとら		十	友引	おさん	張	母倉	4.30	19.01	0.32	23.22	18.32
4日	火	みづのえたつ	米国独立記念日	十一	先負	ひらく	翼	大みやう	4.30	19.01	0.19	23.22	19.42
5日	水	みづのとみ	栄西禪師忌、天一天上、一粒万倍日	十二	佛滅	とづ	軫	十し	4.31	19.00	1.22	22.54	20.41
6日	木	きえうま	東京入谷朝顔市(8日迄)、天しや、一粒万倍日、不成就日	十三	大安	たつ	角	よるづ	4.31	19.00	2.15	22.54	21.31
7日	金	きえとひつじ	小暑六時五十分、七夕、奈良吉野蛙とび、 成田不動尊祇園会	十四	赤口	たつ	亢	大みやう	4.32	19.00	3.02	22.54	22.54
8日	土	ひのえさる	○望一三時七分、東京浅草観音はおずき市、 鴨外忌、一粒万倍日	十五	先勝	のぞく	氐	神よし	4.32	19.00	3.41	22.54	23.30
9日	日	ひのと		十六	友引	みつ	房	神よし	4.33	18.59	4.27	22.00	23.30
10日	月	つちのえいぬ	東京浅草観音四万六千日	十七	先負	たいら	心	ぶく日	4.33	18.59	5.19	22.00	23.30
11日	火	つちのとら		十八	佛滅	さだん	尾	月とく	4.34	18.59	6.13	21.12	23.30
12日	水	かえね	福島伊佐須美田植祭、初伏、 大阪生国魂神社夏祭、草市	十九	大安	とる	箕	きこ	4.35	18.58	7.08	20.58	23.30
13日	木	かえとら	ほん迎え火、東京靖国神社みたま祭	廿	赤口	やぶる	斗	十し	4.35	18.58	8.08	20.58	23.30
14日	金	みづのえとら	熊野那智大社夏祭、小倉祇園太鼓(16日迄)、 佐原の大祭(16日迄)、不成就日	廿一	先勝	あやぶ	牛	大みやう	4.36	18.58	9.07	20.58	23.30

月の初めにはまだ梅雨期が残っていることもあるが、本格的な夏型の天候、気候になる。ただし最近不順なことが多く、冷害や集中豪雨に見舞われることもある。

【冠】七日は「七夕」(たなばた)五節句の一つ「棚機」の日である。織姫の名にちなんで、昔は女子の裁縫の上達を願ったものであるが、最近では技芸はもとより、書道、音楽、学習全般などへの願い事まで、祈るようになった。色紙や短冊などに願いを書いたり、紙の星形をつるして庭に飾る。近ごろでは町ぐるみ、都市ぐるみのお祭り行事になっているところもある。とくに仙台や平塚の「七夕まつり」は全国的に有名である。

【葬】死者を送って最初の「お盆」を特に「新盆」といい、戸外に葉つきの青竹を四隅に立て、上のほうをわら縄で結び、盆花(宿便の別称)などをかけ、白張りの提灯

日	曜日	干支	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	月入	満潮	干潮
15日	土	みづのとう	ほん、山形出羽三山花祭、 勤労青少年の日	廿二	友引	なる	女	母倉	4.36	18.57	10.07	22.43	14.37
16日	日	きえとら	ほん送り火、やぶ入り、賽日、えんま詣り、 京都松尾大社御出祭、国土交通デー、 海の日、○下弦四時二六分、塩竈みなと祭、 京都八坂神社祇園祭、茅ヶ崎葉川神社浜降祭	廿三	先負	おさん	虚	大みやう	4.37	18.57	11.09	22.00	15.22
17日	月	きえとら		廿四	佛滅	ひらく	危	大みやう	4.38	18.56	12.12	22.48	16.23
18日	火	ひのえうま	三隣亡、一粒万倍日	廿五	大安	とづ	室	●	4.38	18.56	13.17	22.48	17.48
19日	水	みづのえとら	土用二〇時五十分	廿六	赤口	たつ	壁	くま日	4.39	18.55	14.24	22.00	18.17
20日	木	つちのえさる	山口祇園祭(27日迄)	廿七	先勝	のぞく	奎	神よし	4.40	18.55	15.32	21.12	19.17
21日	金	つちのとり	一粒万倍日	廿八	友引	みつ	婁	百事よし	4.41	18.54	16.38	20.33	20.33
22日	土	かえいぬ	敦賀氣比神宮総参祭、中伏、 熊谷うちわ祭、不成就日	廿九	先負	たいら	胃	大みやう	4.41	18.53	17.40	20.33	21.36
23日	日	かえとら	大暑〇時一五分、朔一八時四六分、 宇和島和霊祭、旧六月大	朔	赤口	さだん	昂	大みやう	4.42	18.53	18.53	20.33	22.29
24日	月	みづのえね	地蔵ほん、河童忌、八せん始め、 大田原大田山地蔵尊夏大祭	二	先勝	とる	畢	天おん	4.43	18.52	19.27	20.33	23.16
25日	火	みづのとうし	土用の丑、大阪天満天神祭、徳島天神祭	三	友引	やぶる	觜	十し	4.43	18.52	20.11	20.33	23.58
26日	水	きえとら		四	先負	あやぶ	参	母倉	4.44	18.50	21.26	20.33	24.18
27日	木	きえとら	神奈川大山阿夫利神社夏季大祭	五	佛滅	なる	井	神よし	4.45	18.50	22.32	20.33	24.43
28日	金	ひのえとら	宇佐神宮夏越大祭(30日迄)、不成就日	六	大安	おさん	鬼	大みやう	4.46	18.49	23.39	20.33	25.18
29日	土	ひのと	相馬野馬追大祭(31日迄)、 和歌山粉河祭(30日迄)	七	赤口	ひらく	柳	くま日	4.46	18.48	24.43	20.33	25.43
30日	日	つちのえさる	大阪住吉祭(8月1日迄)、 三隣亡、一粒万倍日	八	先勝	とづ	星	●	4.47	18.47	25.43	20.33	26.18
31日	月	つちのひつじ	●上弦〇時三十分、芦ノ湖水祭、 堺大魚夜市、京都愛宕千日詣り	九	友引	たつ	張	大みやう	4.48	18.46	26.43	20.33	26.43

をつるす本格的な行事を行うところもある。お盆は、盂蘭盆の略で昔から家単位の大らかな行事になっている。地方により多少祀り方は違うが、精霊棚を作りお位牌を安置し、野菜、果物、ソメンを、団子などを供えるのが普通である。仏壇に質薦(すいも)を敷いて代用するところもあり、きゅうりやナスで、牛、馬の形を作ったり供えるところもある。

十三日の夕刻、迎え火と十三日の夕刻、迎え火といて仏を迎え、十五日に僧侶に読経してもらい、十六日に送り火をたいて冥界(めいかい)に送る。お盆の供え物は川や海に流すのが普通で、小さな舟を作り、それに灯籠を載せて流す風習も各地に残っている。

【祭】中元の習慣は中国に発する。正月十五日を上元、七月十五日を中元、十月十五日を下元、合わせて三十日とし、金品をささげて贖罪(しよくざい)をする目といふ伝えられており、縁がわが国で形が変わり、縁故者や目上、恩人に贈り物とし、感謝の心を表すものとなったのである。